



333 East 47th Street New York NY 10017 TEL 212 832 1155 FAX 212 715 1262 www.japansociety.org

<プレス・リリース>

プレス担当:

塩原邦子 (kshiobara@japansociety.org / 212-715-1249)

シャノン・ジャウエット (sjowett@japansociety.org / 212-715-1205)

ジャパン・ソサエティー(JS)舞台公演部

日本演劇 英訳版プレイ・リーディング・シリーズ

「片付けたい女たち」

作・永井 愛

2月22日(月) 午後7時半

JAPAN SOCIETY
(333 EAST 47th STREET)

JS舞台公演部は2010年春シーズンの開幕を、日本で絶対の人気を持つ劇作家・永井愛による抱腹絶倒コメディ「片付けたい女たち」で飾ります。更年期を迎えた中年女性3人組の孤独と現実を、永井愛独自のとぼけた風刺と女たちへの愛を込めて描いたヒット作。日本では、岡本麗、松金よね子、田岡美也子の芸達者3人トリオの舞台で満員御礼の全国縦断を果たした「中年女性への応援歌」です。今回の英語版では、アメリカの実力派演出家シンシア・クルートが、アメリカ人俳優を率いてリーディング形式に挑みます。日本の傑作戯曲をアメリカ人俳優たちがどのように料理するか…注目のプレイ・リーディングです。

* リスティング・インフォメーション *

演目: プレイ・リーディング・シリーズ 永井愛・作 「片付けられない女たち」

日時: 2月22日(月) 午後7時30分

チケット料金: 一般 10ドル 会員 8ドル

ボックスオフィス: 212-715-1258 (月曜~金曜 午前11時~午後6時/土日 午前11時~午後5時)

またはJSウェブサイト: www.japansociety.org

会場: JS内劇場 (333 E. 47th St., between 1st and 2nd Avenues)

あらすじ

50代のツンコ子はデザイナーズ・マンションに住む独身キャリアウーマン。だが、最近20歳年下の彼と別れたばかりで、引きこもっていた。心配した2人のおさななじみ、オチヨビとバツミがマンションを訪れると、目にしたのは片付けようのないほど散らかった部屋と、ゴミに埋もれているツンコ。ツンコを引っ張り出し、山のようなゴミを片付けようと奮戦しつつ、3人のおしゃべりは、少女時代の思い出、結婚、お金、過ぎてきて日々への残痕の思い出と、そして残りの人生への不安へと発展してゆく。そこへ一本のミステリアスな電話が…。

永井愛

劇作家・演出家・劇団二兎社主宰。桐朋大学短期大学部演劇科専攻卒。「言葉」や「習慣」「ジェンダー」「家族」「町」など、身近な場や意識化に潜む問題をすくいあげ、現実の生活に直結した、ライブ感覚あふれる劇作を続けている。1891年脚本家の大石静と二人で二兎社を創立。大石退団以後、自身のプロデュースを続ける。「ら抜き」の殺意」で第1回鶴屋南北戯曲賞受賞。1999年、「兄帰る」で岸田國士戯曲賞、2000年「萩家の三姉妹」で読売演劇大賞 優秀演出家賞、読売文学賞(シナリオ戯曲賞)受賞、2005年、君が代強制を題材に取った「歌わせたい男たち」で読売演劇大賞 優秀演出家賞受賞。現在最も人気のある日本人戯曲家の一人である。

シンシア・クルート

ニューヨークを拠点とする演出家、作家、活動家として、芸術を通しての国際交流でも知られる。演出作品にスーザン・ロリ・パーカー作「ヴィーナス」(南アフリカ)、ジョン・グアーレ作「ハウス・オブ・グリーン・リーブス」(シアトル)、「冬物語」(コロラド・シェイクスピア・フェスティバル)を始め、グッゲンハイム美術館、シンフォニー・スペース等でも演出。演劇界大手の一つであるTCGフェローシップ獲得。04年コロンビア大学とダマスカス大学間の文化交流使節の一員となり、09年はテヘランのファジャール国際演劇フェスティバルにてスピーカーを務める。コロン大学演出科MFA取得。現ワシントン州ホイトマン・カレッジ助教授。

* 取材お申し込み *

上記公演の取材・見学をご希望の方は、事前に必ずプレス担当:塩原/ジャウエットまでEメールで(kshiobara@japansociety.org / sjowett@japansociety.org) お申し込み下さい。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦下さい。

本公演 助成: セゾン文化財団

本公演のリハーサルは、慶応義塾大学デジタルメディア・コンテンツ総合研究機構の協力を得て、東京の永井愛とニューヨークの演出家、役者をデジタル・ネット・システムでつないで行われます。

* 2009-10年度のJS舞台公演部は、以下の団体・基金および個人より後援・支援を受けています。

Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund
The Starr Foundation
New York City Department of Cultural Affairs
Doris Duke Charitable Foundation
Endowment for the Performing Arts (Doris Duke Charitable Foundation, The Globus Family, 京セラ株式会社 The Starr Foundation, トヨタ自動車株式会社の率先によって設立)

New York City Cultural Affairs
Dr. John K. Gillespie
The Fan Fox and Leslie R. Samuels Foundation, Inc.
New York State Council on the Arts
Peter Jay Sharp Foundation

全日空 (国際渡航便協力)
パイオニア エレクトロニクス USA (プラズマ・ディスプレイ提供)

American Recovery and Reinvestment Act of 2009 (Mid Atlantic Arts Foundation と National Endowment for the Arts を通じて)

JS舞台公演部について

JS 舞台公演部は、1953年の創設以来、雅楽・能・歌舞伎・人形劇・三味線や落語などの古典芸能から最先端の現代劇、実験的な音楽、そしてコンテンポラリー・ダンスまで、あらゆるジャンルの舞台公演を企画し、当館内劇場にて主催・上演。これまで600種を超えるプログラムを米国の観客に紹介してきました。また、北米ツアーのプロデュースも手がけることで、日本の優秀な若手アーティストにとっては国際的キャリアの登竜門として、また米国人アーティストには新作委嘱や交換レジデンシーなどを通じてより深い日本理解の機会を与える貴重な機関として、日米の舞台芸術界に比類のない貢献をしています。

JSについて

JSは、1907年(明治40年)にニューヨークに設立された米国の民間非営利団体です。全米最大の規模を誇る日米交流団体として、両国間の相互理解と友好関係を促進するため多岐に渡る活動を続け、2007年に創立100周年を迎えました。その活動範囲は、政治・経済、芸術・文化、日本語教育など幅広く、各分野での催し物や人物交流などを通じて、グローバルな視点から日本理解を促すと同時に、日米関係を深く考察する機会を提供しています。今日、JSは政財界のリーダー、アーティスト、教育関係者、起業家から学生まで様々な方々を招聘し、日米の個人・法人会員をはじめとする多くの人々を対象に年間100以上のプログラムを提供しています。1907年の創立以来、JSが企画・開催した展覧会、舞台公演、映画上映会、講演会、試食・試飲会、シンポジウム、国際会議、セミナー、ワークショップは数千件にのぼります。
